



ながら SDGs 通信

第 30 回

「超高齢社会の地域デザイン」

長柄町タウンアドバイザー／

千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太



2月16日～19日まで、長柄町にて、台湾・国立成功大学と千葉大学による「超高齢社会の地域デザイン」の授業を開講しました。

台湾は、日本と同様に人口減少・高齢化が社会問題となっています。そこで、高齢者の健康的・活動的な暮らしについて、成功大学老年学研究所のリュウ教授・ヤン教授と千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィスが共同で授業（英語）を開講し、長柄町における高齢化の実態と課題解決のためのアプローチを学習しました。

台湾人と日本人の学生は事前のオンライン授業で長柄町の実情について学んだ後、2月16日～19日まで長柄町に滞在し、3名の町民の皆様へ町での生活や活動についてインタビューしました。最終日は町民の皆様と一緒に、全員が一人ずつ感想を述べる対話（ラウンドテーブル）を実施しました。学生はその後千葉大学に移動し、長柄町での経験をもとにした「2060年の地域デザイン」を考案・発表しました。インタビューにご協力くださった皆様へ心より御礼申し上げます。

私は兼務する千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィスの国際連携部門長として、台湾との交流を積極的におこなっています。6月には台湾・国立中山大学の教授と大学生たちが、長柄町に学習に訪れます。今回に続き、長柄町の持続可能なまちづくりを考える上で、外国人研究者や若者の示唆を得られる機会となります。



ラウンドテーブルの様子